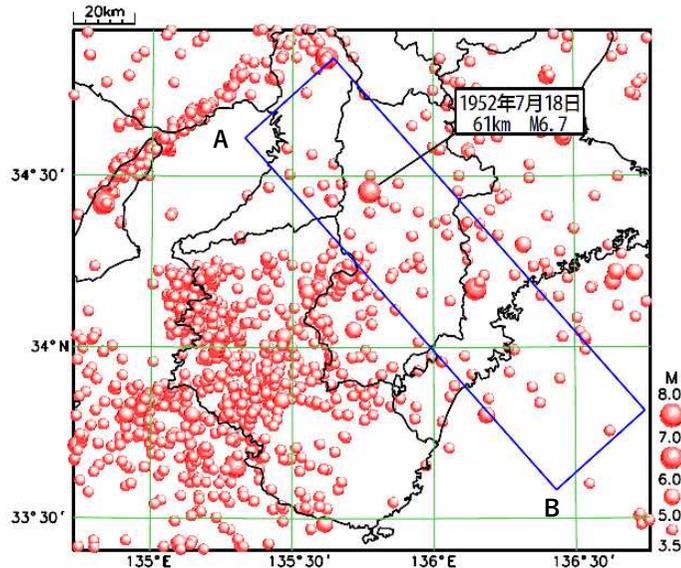
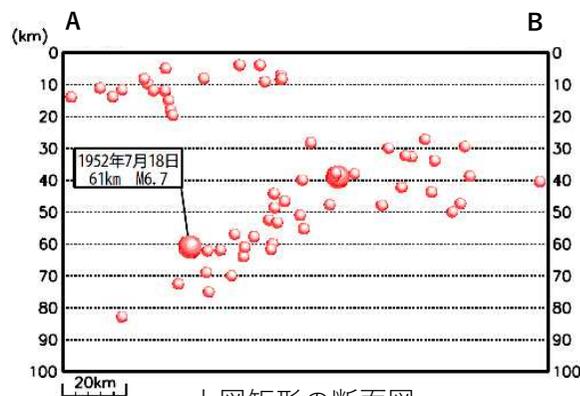


震度分布図



震央分布図

1950年1月1日～2021年12月31日
M3.5以上 深さ100km以浅



上図矩形の断面図

〈コメント〉
この地震は内陸で発生したが、断面図を見ると沈み込んだフィリピン海プレート内で発生したやや深い地震であることがわかる。

被害は、左に記載のほか、奈良県の春日大社の石灯籠が多く倒壊した。橿原測候所の踏査報告によると、約1600基のうち倒壊は650基を数え、約3分の1が被害を被ったと記されている。

■地震の諸元 (気象庁カタログによる)

発生年月日 昭和27 (1952) 年7月18日
震央 奈良県
マグニチュード 6.7
深さ 61km
北緯 34度27分 東経 135度46分

■被害 (大阪府での被害)

死者 2人
負傷者 75人
家屋全壊 9棟

大阪府地域防災計画による

全体※

死者 9人
負傷者 136人
家屋全壊 20棟

全体※

日本被害地震総覧による